

# 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

報告日 2025年 11月 19日

P T A名		静岡県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	12人				

## 1. 使用状況

寄贈物品名	縮太鼓
使用学年及び人数	高等部全学年(12人)
使用頻度	5月～10月までの間(音楽の授業 毎時間、体育祭舞台発表)
使用状況	音楽の授業「体育祭に向けて牛原太鼓を演奏しよう」で使用した。長胴太鼓と合わせ、隣接する高等学校と共同開催している体育祭の舞台発表で『伊豆松崎牛原太鼓』を演奏した。
物品の使用による変化や効果	一昨年度までは松崎町で太鼓を借りて授業で使用していたが、運搬が大変であり、古くなっていたため痛みが出て使いにくい太鼓もあった。本年度は、寄贈していただいたことで、いつでも使うことのできる環境を整えることができた。また、新しい太鼓になったことでより良い音で演奏を行うことができ、活動に対する生徒の意欲も増した。一人一台の太鼓を使用することができるようになったため、練習では、生徒一人一人が十分に太鼓に触れ、繰り返し練習することができた。
今後の活用の見通しや課題	今後も、町の方の協力を得ながら演奏に取り組み、創意工夫しながら技術を磨いていくことで、和太鼓の楽しさを感じられるような学習を計画していきたい。
その他希望や所感など	和太鼓に十分に触れ、繰り返し練習することができたため、体育祭本番の生徒の演奏は自信に満ちており、身体の動きも音の響きも素晴らしいもので、聴いていた保護者や地域の方からも好評だった。今後も有効に活用し、大切にに使わせていただきたい。

## 2. 活用の様子



＜グループに分かれての練習の様子＞  
一人一台の太鼓を使って繰り返し練習することができたため、「音を揃えて叩く」「腕を大きく上げる」と生徒が具体的な目標をもって取り組むことができるようになりました。



＜体育祭本番の様子＞

御指導をいただいてきた、伊豆松崎牛原太鼓代表の方と一緒に本番の演奏をしました。練習の成果を十分に発揮し、息の合った演奏を披露することができました。聴いていた松崎高等学校の皆さんや、保護者の皆さんに大きな拍手をいただきました。太鼓の響きは、学校から離れた町内の地域へも届いていたと、地域の方からお褒めの言葉もいただきました。

